



石田 仁 後援会会報

～21世紀心の時代に元気を！～

NO. 3

平成17年12月発行

〒503-0933 大垣市外野1丁目461番地1 Tel.88-0023

発行責任者 後援会長 青木司朗

1期目後半突入ーさらにパワーフル!

平素から石田仁後援会活動にご理解、ご協力賜り厚くお礼申し上げます。

いよいよ来年は1市2町の合併が行なわれ、新大垣市が誕生するわけですが、その準備の年である今年も、大垣市発展のために石田議員、益々精力的に活動させていただいております。今

後とも、皆様の暖かいご指導、ご支援を宜しくお願いいたします。



平成17年度委員会所属

常任委員会

厚生委員会

副委員長

特別委員会

市民病院に関する委員会 委員

☆定例議会報告

石田仁議員の一般質問を掻い摘んでご報告いたします。

9月定例議会 一般質問 (平成16年9月13日)

① 防災対策のマニュアル化について

《要旨》 市内で有事発生の際、災害対策本部は通常本庁舎4階大会議室に設置されるが、地震等の場合、本庁舎倒壊の危険性が高く、代替施設を含む、災害対策本部等の初動体制のマニュアルの早期作成と、避難所運営に際してのマニュアル作成について。

《市長答弁》 大垣市地域防災計画に基づき、それぞれに見直し、充実を図ってまいります。

② 外国人の子ども達の教育について

《要旨》 現在大垣市内には、外国人登録者が 5,739 人、総人口比率 3.9%、実に 26 人に 1 人が外国人。今後更に増加が考えられるなか、学校教育現場にも同様の現象があり、我々の子ども達の教育にも少なからず影響が出る



る事を危惧する中、日本語学級の現状分析と、今後の整備、加配教員や、市単独配置教員の体制作り、更に外国人学校の整備にも行政としてもっと力を入れるべきではないか。

《教育委員会事務局長答弁》日本語学級も更に充実させ、教員についても確保に努力した。外国人学校については、一部各種学校認可を希望されているように聞くが、県知事認可の為、市としては今後研究してまいりたい。

12月定例議会 一般質問 (平成16年12月14日)

①災害ボランティア受入れ制度と防災ボランティアグループ登録制度について

《要旨》 災害発生時、近隣からや、落ち着いた市民の方々による災害ボランティアの受け入れ態勢整備の進捗状況と、現在の防災ボランティアグループ登録制度の運用状況、研修、訓練等の実施状況。更にこれら2事業の関連性についての考え方と進め方を尋ねる。

《生活環境部長答弁》 省略させていただきます。

②大垣市の節目とゆかりの年を生かした都市活性化計画の提案

《要旨》 今後の大垣市のビジョンを語る上で、文教都市と名乗るからには、芭蕉で全国にPRすることも結構だが、市民の魅力で活力あふれる街作りを考えた時、郷土の先達を適宜顕彰しつつ、市政の節目の年や先達のゆかりの年を念頭に置いた活性化計画策定の必要性があるのではないかと。

《市長答弁》 省略させていただきます。



3月定例議会 一般質問 (平成17年3月7日)

今後の大垣市の農業について

新しい農業の形？ 東京のビルの地下2階

《要旨》 平成 17 年度予算を見ると、一般会計予算構成比で農林水産業費は何と 1.6%。全国各地で食料自給率向上と安全な食の確保、魅力ある農業の為に努力されているが、大垣市においては市民の食の安全を確保し、大垣市の農業を守っていく為にどう考え、振興策として何を実践されるおつもりか。

《市長答弁》 本市としても、大垣市水田農業ビジョンを策定し、農業振興に取り組んでいるが、さらに市民の農業への関心を高めるような事業を展開し、大垣市農業振興施策を引き続き推進してまいります。



6月定例議会 一般質問 (平成 17 年 6 月 13 日)

① 「e - 文書法」への対応と I T 戦略計画の推進に

ついて

《要旨》 本年 4 月施行された「e - 文書法」に対し、I T 先進都市といわれる大垣市として、民間動向を踏まえどう対応されるのか。また、情報社会の変化、進展に対応すべく、市長 2 期目にあたり、就任早々に計画された「I T 戦略計画」の今後の見通しと、市長自らが描く電子市役所のイメージや推進方法について、何時、どのように展開されるのか。

《市長答弁》 省略させていただきます。

② 今後の学級編成と水都っ子プランの有効活用について

《要旨》 本年 5 月文部科学省の新聞報道や、4 月からの岐阜県の対応をふまえ、今後の大垣市の小学校 1・2 年生の学級編成はどうなっていくのか。具体的な目標年次を示した考え方、計画をお尋ねする。また、1 人の担任が 40 人近い児童全てを把握することは困難だと思われ、水都っ子プランの補助講師は予算上 4 時間対応ではなく、8 時間の常勤講師としての対応が絶対必要だと考える。現状のまま、国、県の方針を待つのではなく子育て日本一を標榜する大垣市として、速やかに補助講師の 8 時間常勤化を強く要望する。

《教育長答弁》 水都っ子補助講師について、本年度より 1 年生の対象を 35 人から 30 人に拡充しましたが、時間延長は大変困難な状況です。授業以外の指導や障害児指導援助等も含め今後の検討課題として考えてまいります。

9月定例議会 一般質問（平成17年9月13日）

「環境基本計画」の推進と条例化の考え方について

《要旨》自己決定・自己責任を基本とする行政運営を基に、合併での市域の拡大を踏まえ、環境基本計画の具体化方策の一つとして、環境基本条例を制定し、行政・市民・事業者相互の役割の一層の明確化を図る考えはないか。（基本計画の見直しも含めて）

《市長答弁》合併を踏まえ、望ましい環境像を生かした「新しい大垣らしさ」を求め、来年度以降、条例制定に向け市民検討会の設置を設け、皆様の意見を反映させていきたい。

尚、一般質問の傍聴ができますので、是非一度、議場へご来場下さい。

☆ トピックス

（ひとしの日）

本年1月より毎月14日（公務等で一部変更もありました）午後7時30分から1時間半ほど、事務所で開いている雑談会も早1年になろうとしています。毎月5～10人ほどがお集まりいただき、市政報告をさせていただいたり、皆様のご意見ご要望を聞いたり、勉強させていただきました。今後も続けてまいりますので、お気軽にお立ち寄り下さるようお願いいたします。

☆ 要望活動並びに、先進都市へ積極的に視察活動

本年も杭瀬川改修関係等で中部地方建設局や国土交通省への要望活動の他、単独可児市給食センター等視察、地元諸施設の訪問などでいろいろ勉強を重ねております。教育、治水、福祉関係の諸問題につきましても積極的に働きかけております。

今後とも、皆様のご意見をいただきながら、各地をまわり、大垣市発展の為に、鋭意努力いたしてまいりますので、お気軽にお声をおかけ下さい。

☆ 新年の行事予定

平成18年1月3日午前10時より、外野の事務所にて、新年のご挨拶をさせていただきます。誠に勝手ながらご来所の程、宜しく願い申し上げます。

恐縮ですが、当日、会費300円をお願い致します。

尚、時間は10時から13時とさせていただきます。



平成17年1月3日の様子